

<地域包括ケアシステム構築に向けた重点的取組事項に係る推進体制状況>

1 介護予防・日常生活支援総合事業の実施

平成28年4月から介護予防・日常生活支援総合事業をスタート

2 介護予防・日常生活支援総合事業の内容

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

- ・訪問介護 (従来の介護予防通所介護サービス内容を移行実施)
- ・通所介護 (従来の介護予防訪問介護サービス内容を移行実施)
- ・通所型サービスC (元気でGO!GO! トレーニング) …短期集中で自立強化

(2) 一般介護予防事業

① 介護予防普及啓発事業

- ・がいなみっく予防トレーニング (20箇所拡大)
- ・ふらっと運動体験 (弓浜老人福祉センター等3か所拡大)
- ・ショッピングリハビリ (尚徳地域等3か所拡大)
- ・健口機能向上支援モデル事業 (H28年度新事業)

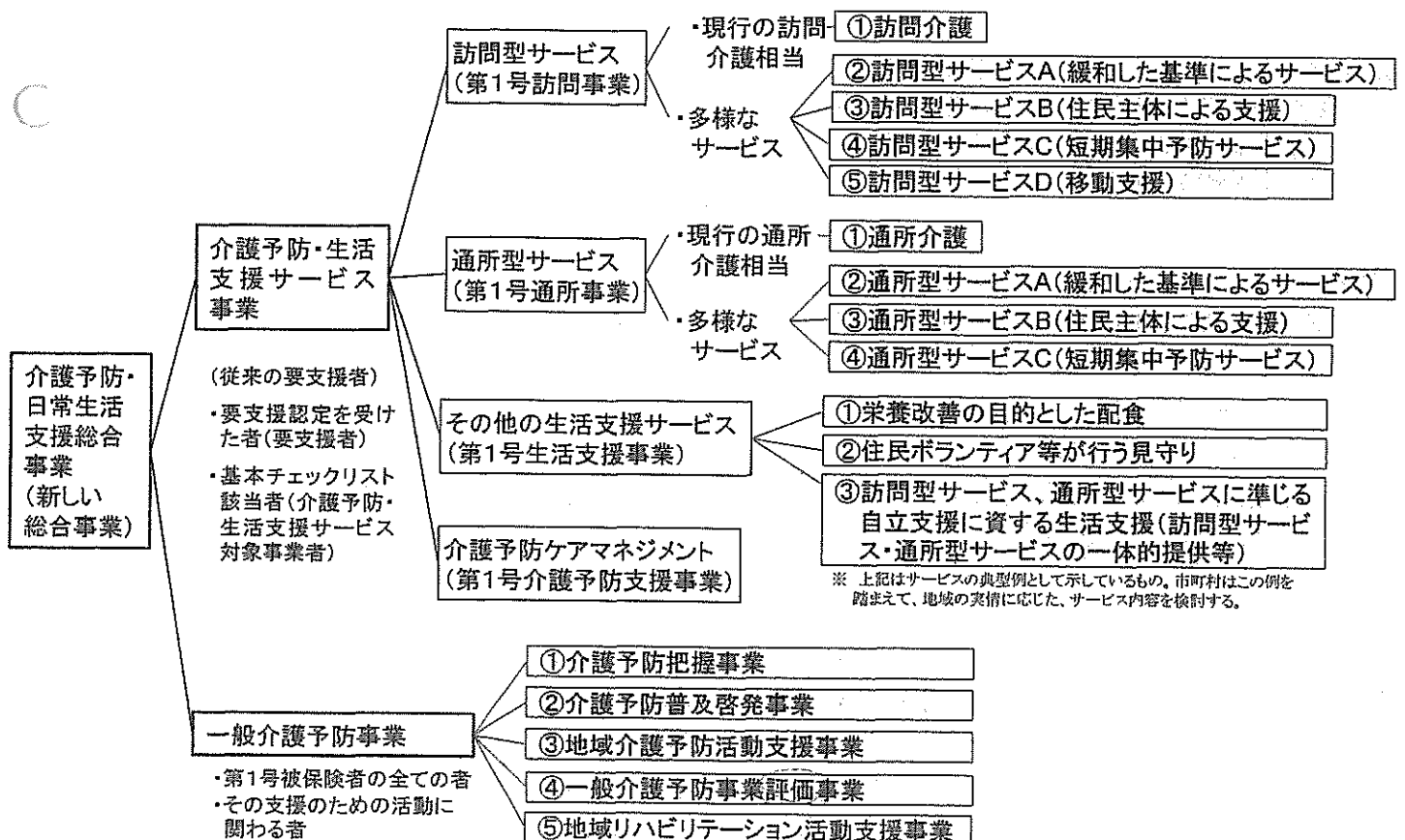
① 地域介護予防活動支援事業

- ・健康づくりやって未来や塾 (26箇所増加)
- ・健康づくり地域サポーター (よなGO!GO!体操の普及等)

③ 地域リハビリテーション活動支援事業

- ・地域活動にリハビリテーション専門職を派遣 (H28年度新事業)

【参考】介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)の構成



※ 上記はサービスの典型例として示しているもの。市町村はこの例を踏まえて、地域の実情に応じた、サービス内容を検討する。

平成28年度 介護予防ケアマネジメント実績(4月～12月)

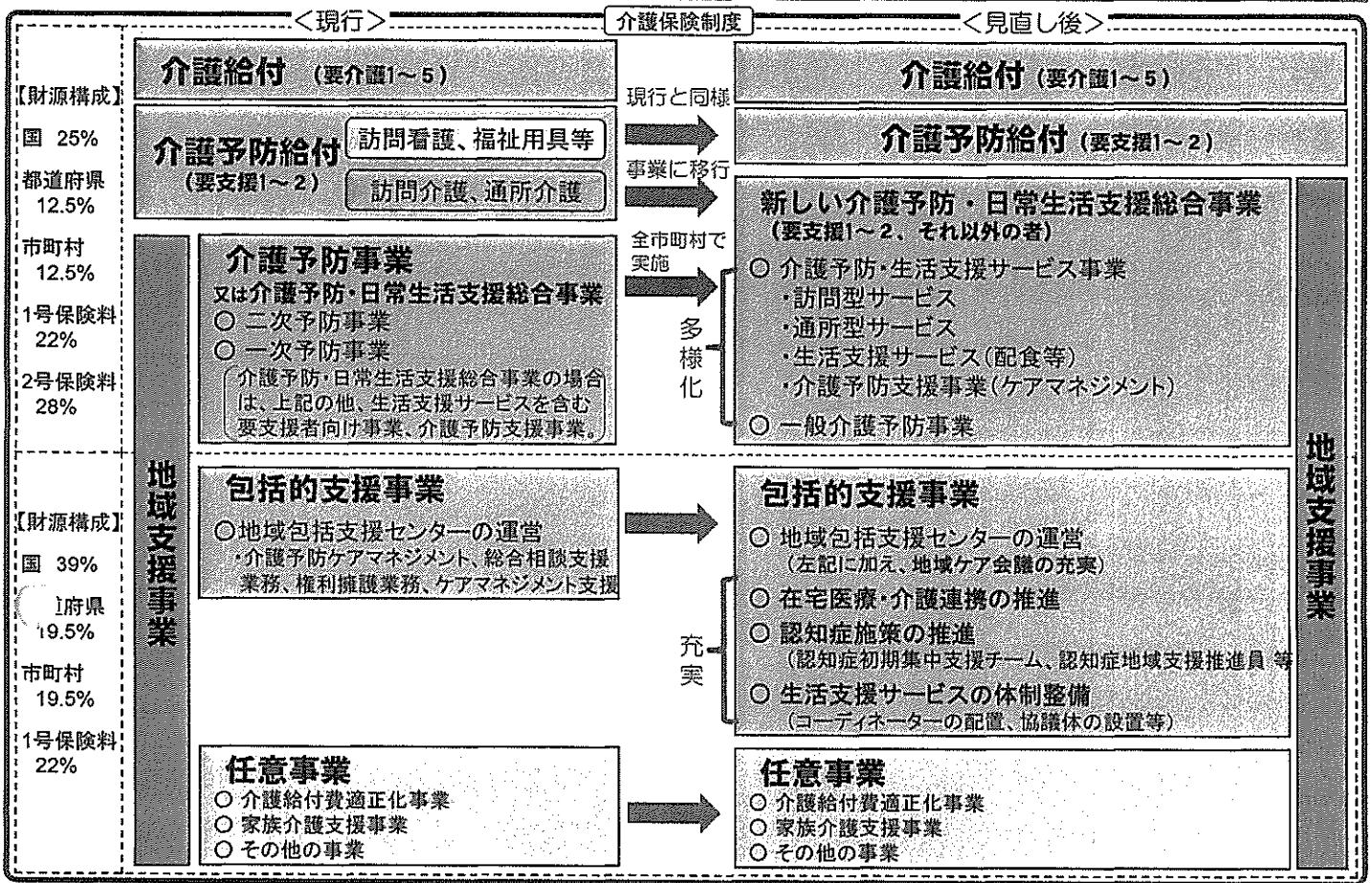
	地域包括支援センター名	ふれ里	義方・湊山	住吉・加茂	尚徳	弓浜	箕崎屋	淀江	合計	総計	比率(%)※3
4月	事業対象者※1	40	26	26	66	9	11	9	187	925	20.2
	要支援(総合事業)※2	243	146	120	37	63	64	65	738		
5月	事業対象者	45	28	29	66	25	13	14	220	967	22.8
	要支援(総合事業)	263	134	114	37	69	66	64	747		
6月	事業対象者	46	28	32	68	29	22	18	243	987	24.6
	要支援(総合事業)	267	142	109	36	64	68	63	744		
7月	事業対象者	47	43	36	68	33	31	18	276	1,038	26.6
	要支援(総合事業)	277	148	115	36	63	68	55	762		
8月	事業対象者	52	39	36	66	30	30	18	271	1,017	26.6
	要支援(総合事業)	274	136	114	36	63	67	56	746		
9月	事業対象者	58	39	38	71	31	34	18	289	1,024	28.2
	要支援(総合事業)	267	134	118	32	62	66	56	735		
10月	事業対象者	60	47	37	59	32	36	19	290	1,034	28.0
	要支援(総合事業)	284	134	118	31	59	63	55	744		
11月	事業対象者	67	47	39	60	30	34	24	301	1,038	29.0
	要支援(総合事業)	282	134	116	27	58	65	55	737		
12月	事業対象者	68	51	41	61	19	33	22	295	1,016	29.0
	要支援(総合事業)	272	130	113	26	56	70	54	721		
	合計	2,912	1,586	1,351	883	795	841	683	9,046		

※1 事業対象者とは、介護認定を受ける事なくチェックリストの実施により総合事業のサービスを利用している方です。

※2 要支援(総合事業)とは、要支援認定を受けて総合事業のサービスのみを利用している方です。

※3 比率とは、総計に対する事業対象者の割合です。

【参考】介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)の構成



地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差。
- 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。

